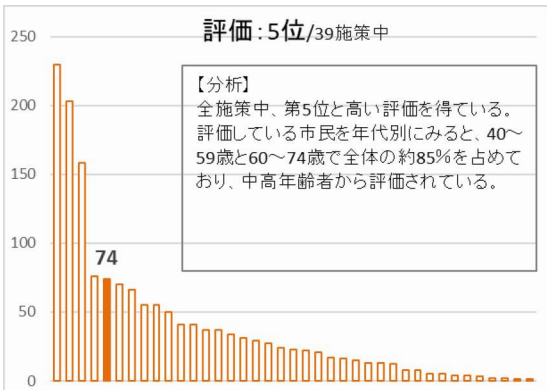


③ 地域に密着した医療サービスの提供 <<評価：65.0点>>

市民意識調査結果



施策成果指標

施策に対する成果指標名			単位	過年度実績		評価年度
				H29	H30	R1
成果指標	100床当たりの医師数	目標	人	12.0	12.0	12.0
		実績	人	10.3	10.5	10.6
		達成率	%	85.8	87.5	88.3
		ベンチマーク		7.9	8.0	7.7
参考指標①	経常収支比率	目標	%	100.0	100.0	100.0
		実績	%	100.4	100.2	100.5
		達成率	%	100.4	100.2	100.5
		ベンチマーク		98.1	98.0	97.1
参考指標②	病床利用率 (一般病床のみ)	目標	%	90.0	90.0	90.0
		実績	%	75.8	76.3	72.5
		達成率	%	84.2	84.8	80.6
		ベンチマーク		69.8	70.4	70.0
参考指標③	救急搬送患者の受入割合 (東備消防組合管轄内 医療機関への救急搬送)	目標	%	70.0	70.0	70.0
		実績	%	66.2	65.6	63.5
		達成率	%	94.6	93.7	90.7
		ベンチマーク		70.7	70.8	70.4

成果指標の妥当性

評価	担当課	A委員	B委員	C委員	D委員	E委員	F委員
	3	3	3	2	2	2	3
評価採点		3	3	2	3	2	3
担当課判断理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果指標等については、全国自治体病院の医師数平均値を下回らないよう100床当たりの医師数を成果指標とし、参考指標には経営の健全化を示す指標として経常収支比率と一般病床の病床利用率と公立病院が果たすべき救急搬送患者の受入割合とした。</li> </ul>						
市民委員意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標値の設定は3年間同じ項目で設定しているが、3年並べたらそこに何か変化・新しい対策を見つけることができるのか市民に分かりにくい。</li> <li>目標値の設定が分かりにくい。</li> <li>現状から達成可能な設定と思われる。</li> <li>H31以前はその数値が適正かどうかの記載があったが、R2では抜けており、成果指標の説明だけで終わっているのが後退しているような気がする。分析した言葉があると分かりやすい。</li> </ul>						

事業構成の 適当性	評価	担当課	A委員	B委員	C委員	D委員	E委員	F委員
		3	3	3	2	2	2	3
	評価採点		3	2	2	3	2	3
	担当課 判断理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業構成については、手段についても貢献度においても効率性や採算性だけではなく、医療機能や住民の安心・安全にも考慮しており最適であると考え、今後の人口減少等を視野に入れ、検討を必要とする。</li> </ul>						
市民委員 意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>妥当すぎるため、殻を割って大きく目標を。</li> <li>前年と比べて新たに何に取り組んだのか全く分からない。カイゼンされて良かった点が分かれば市民に理解してもらえる。</li> <li>さつき苑が入っていない</li> </ul>							
施策の 有効性	評価	担当課	A委員	B委員	C委員	D委員	E委員	F委員
		3	3	3	3	2	2	3
	評価採点		3	3	3	2	2	3
	担当課 判断理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>経常収支比率については、日生病院と吉永病院が良好なものの、備前病院は目標に達しておらず、一般病床のみの病床利用率については、吉永病院のみが全国平均を上回っている。</li> </ul>						
市民委員 意見	特に意見なし							
R2年度の 取組内容	評価	担当課	A委員	B委員	C委員	D委員	E委員	F委員
			3	2	2	2	3	4
	評価採点		3	2	2	2	3	4
	担当課 判断理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度発足した「病院事業あり方検討会」では問題点の整理、様々な提案が出ているが、結論には至っていない。引き続き、5年後、15年後の病院事業のあり方を検討する。</li> <li>また、3病院の連携強化についても進展はみられていない。今後、高齢化、人口減が続く中、そして新たな感染症の発生も視野に入れ、将来にわたり安定した医療、介護サービスの提供ができるよう経営基盤の強化を図り、効率的な経営を維持するため、事務機構の適正化等、将来を見据えた3病院の連携強化を進める。</li> </ul>						
市民委員 意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>病院ごとにそれぞれのニーズに応じて取り組まれている。</li> <li>現状の課題分析を丁寧にしてほしい。</li> <li>課題把握はしているものの、取組は限定的とならざるを得ないのが現状かと思われる。</li> <li>話を聞いて具体的にいろいろと取組をされていることが分かったが、シートではそのことが読み取れないため、反映していただきたい。</li> </ul>							
R3年度の 取組目標	評価	担当課	A委員	B委員	C委員	D委員	E委員	F委員
			3	2	2	2	3	3
	評価採点		3	2	2	2	3	3
	担当課 判断理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>市立3病院並びにさつき苑は常に連携を図り、経営の安定化を図る。また、地域の開業医、介護施設等及び市長部局とも連携しながら、地域に密着した医療、介護、予防サービスの充実を目指す。</li> </ul>						
市民委員 意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>「病院事業あり方検討会」発足で向かう方向は見えているように思う。</li> <li>来年度これをやっていくというのをもっと前面に出し、具体的に記述していただきたい。</li> </ul>							

## 市民委員から見た課題

- ・吉永病院の文章がとても分かりやすく具体的です。
- ・吉永病院の事務事業評価シートを見て感心しました。今後の取組、次への方向性について良い悪いは分かりませんが、よく内容をつかんでおられ、読んでみて理解しやすかった。他の病院もこのように報告していただくと分かりやすい。
- ・市民ニーズとあっているか。(子育て世代には利用しづらい)
- ・患者に寄り添うこと(病状説明など納得いく内容に欠けている)
- ・病院事業としてどのような課題があり、どう取り組んできているかということが、市民の人が初めて見ても分かりやすく端的に伝えられるシートにしていきたい。

## 長期的に取り組むべき課題

- ・病院事業あり方検討会における適切な議論
- ・岡大の医局に対して、強力なアプローチとコミュニケーションを取って、市民のための病院運営を目指してください。

## 委員会後の担当課対応

- ・成果指標の経常収支比率の記述(数値が適正なのか分からない)  
→病院事業における経常収支比率については100を超えると適正であることから、説明を追記しました。
- ・⑧施策の評価
  - 1<成果指標の妥当性>の記述(成果指標に関する説明が分かりにくい)  
→指標に対する説明を追記しました。
  - 2<事業構成の妥当性>の記述(分かりにくい)  
→簡潔に分かりやすくするため、記述を一部削除しました。
  - 3<施策の有効性>の記述(分かりにくい)  
→各病院間での連携について、診療科目等の違いを特徴として生かす連携を図ることを追記しました。
- R2年度の実施内容及びR3年度の実施目標の記述(具体性が無い)  
→病院事業内での人事交流等による人材の適正配置を推進することを追記しました。